

## 10. 道路工事現場における標示施設等の 設置基準

心身醫學の発展と心身症の臨床的意義

吉澤 隆夫

# 道路工事現場における標示施設等の設置基準

## (道路工事の標示)

1. 道路工事を行なう場合は、必要な道路標識を設置するほか工事区間の起終点に様式1に示す標示板を設置するものとする。

なお、工事期間については、交通上支障を与える実際の期間を記入するものとする。

## (夜間作業又は昼夜兼行作業の標示)

2. 夜間作業又は昼夜兼行作業を行なう道路工事現場においては、様式1に示す道路工事の標示板の直上に、様式2に示す標示板A型又はB型をそれぞれ標示するものとする。

## (防護施設等の設置)

3. 車両等の侵入を防ぐ必要のある工事箇所には、両面にバリケードを設置し、交通に対する危険の程度に応じて赤ランプ、標柱等を用いて工事現場を囲むものとする。(参考(3)を参照)

## (迂回路の標示)

4. 道路工事のため迂回路を設ける場合は、当該迂回路を必要とする時間中、迂回路の入口に様式3に示す標示板を設置し、迂回路の途中の各交差点(迷い込むおそれのない小分岐を除く。)において、図1及び図2に示す要領により道路標識「まわり道」(405)を様式4に示す補助板を付して設置するものとする。(参考(1)参考(2)及び参考(4)を参照)

## (色 彩)

5. 道路工事現場において、一般交通に対する標示を目的として、標示施設又は防護施設に色彩を施す場合は、黄色と黒色の斜縞模様(各縞の幅10cm)を用いるものとする。

## (管 理)

6. 道路工事現場における標示板及び防護施設は、堅固な構造とし所定の位置に整然と設置して、修繕、塗装、清掃等の維持を常時行なうほか、夜間においては遠方から確認し得るよう照明又は反射装置を施すものとする。

(昭和37年8月30日 道発第372号道路局長通知)

①

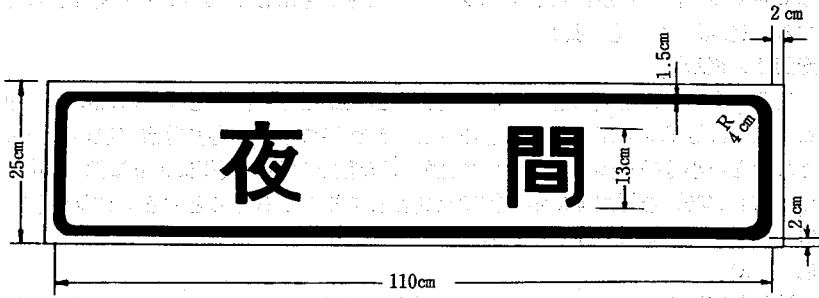
[501]距離区域



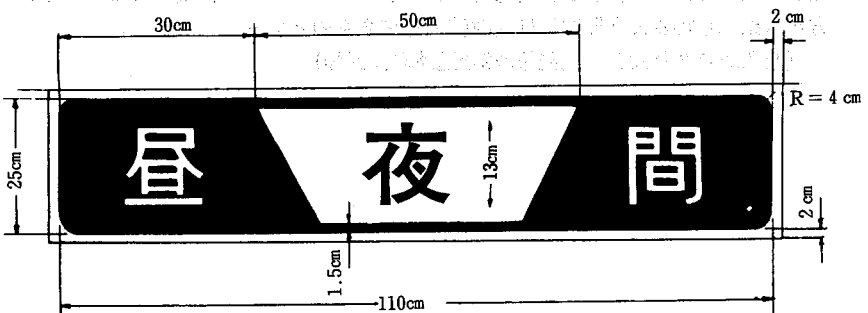
②

様式 2

A 型

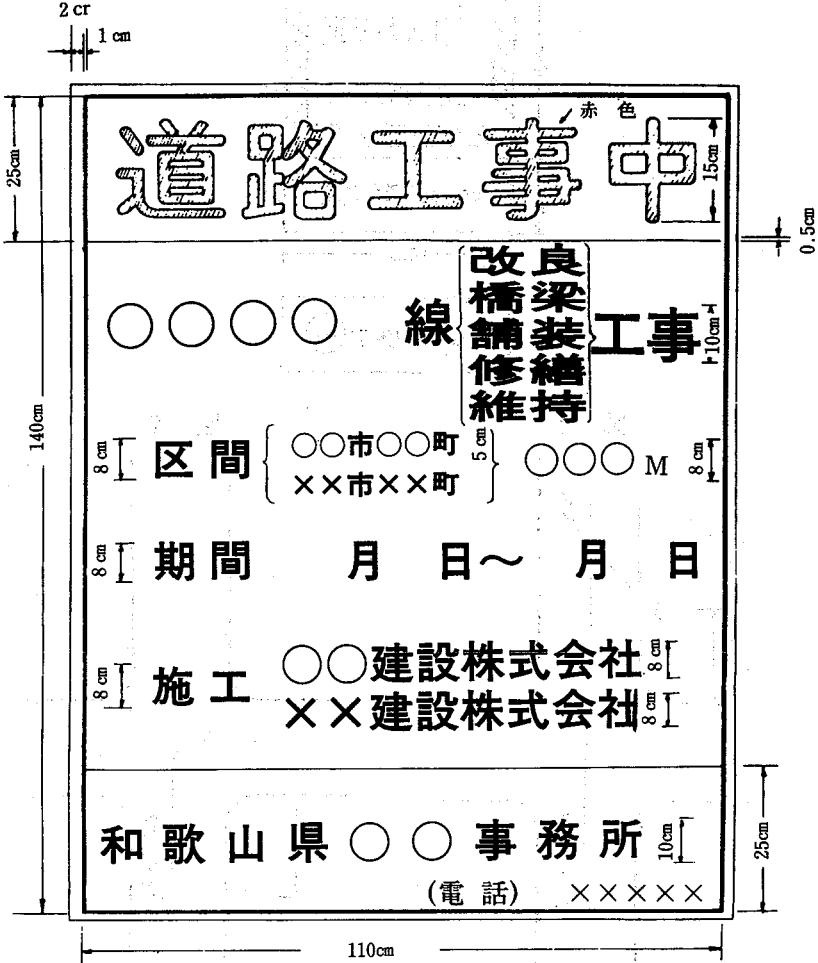


B 型



(道路、河川共通)

株式 1



註. 維持又は修繕舗装工事は舗装工事と記入する

様式 4

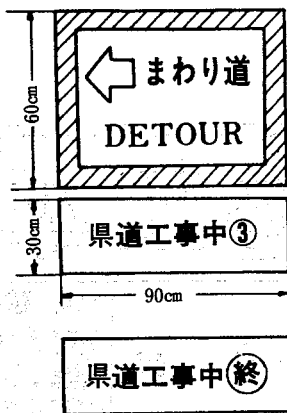


図 1

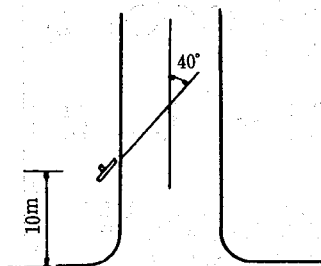
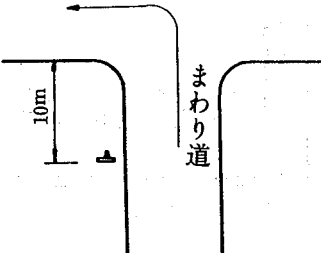
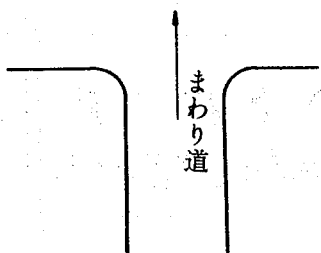
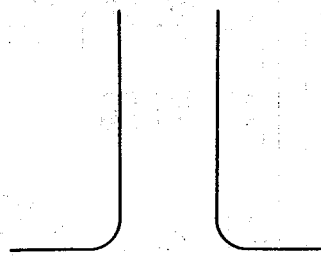
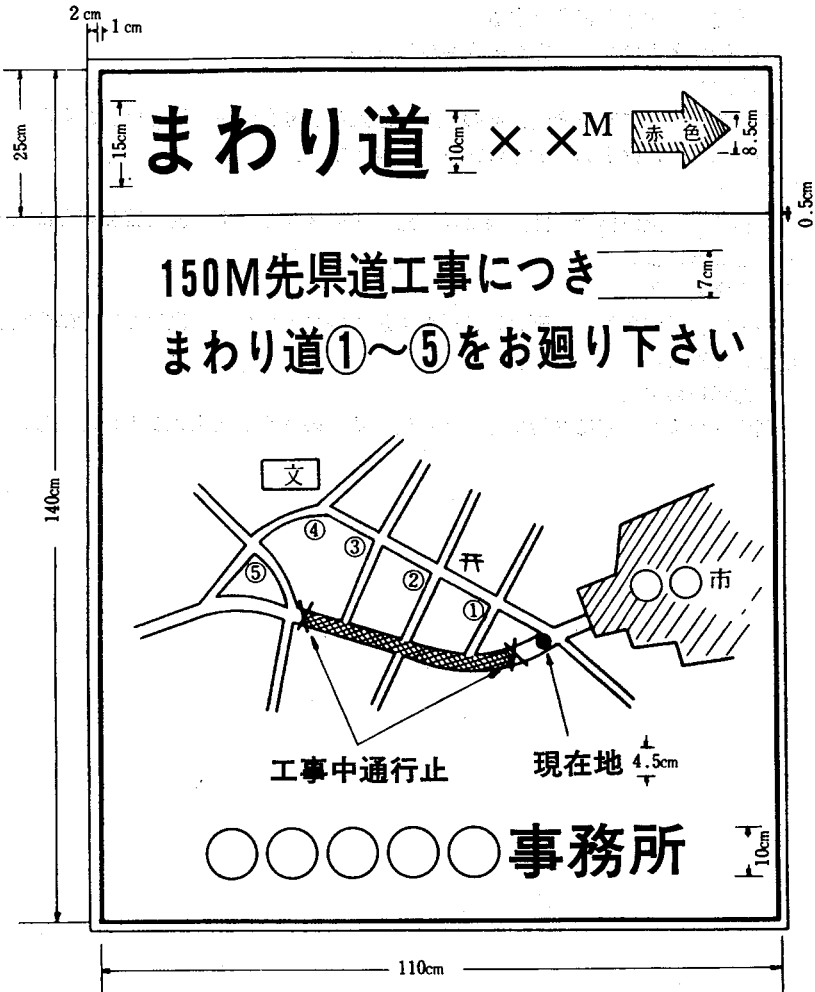
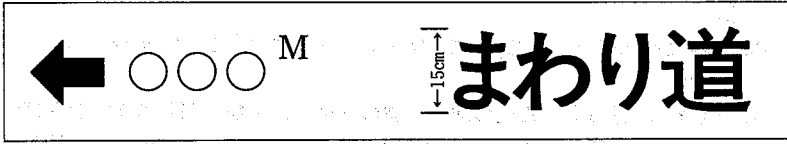


図 2



様式 3



## 備 考

### 一 様式 1

- (1) 色彩は、「道路工事中」を赤色、その他の文字及び線を青色、他を白とする。
- (2) 縁の余白は 2 cm、縁線の太さは 1 cm、区間線の太さは 0.5 cm とする。

### 二 様式 2

- (1) 色彩は、縁および A 型の地、B 型の「昼」および「間」の文字ならびに B 型の中央部の地を白色とし、縁線および A 型の文字、B 型の左右の地および「夜」の文字を青色とする。
- (2) 縁の余白は 2 cm、縁線の太さは 1.5 cm とする。

### 三 様式 3

- (1) 色彩は、矢印を赤色、その他の文字及び記号を青色、地を白色とする。
- (2) 縁の余白は 2 cm、縁線の太さは 1 cm とする。

### 四 様式 4

色彩等は、道路標識、区画線及び道路標示に関する命令、別表第 2 備考に規定するところによる。

### 五 文字の書体

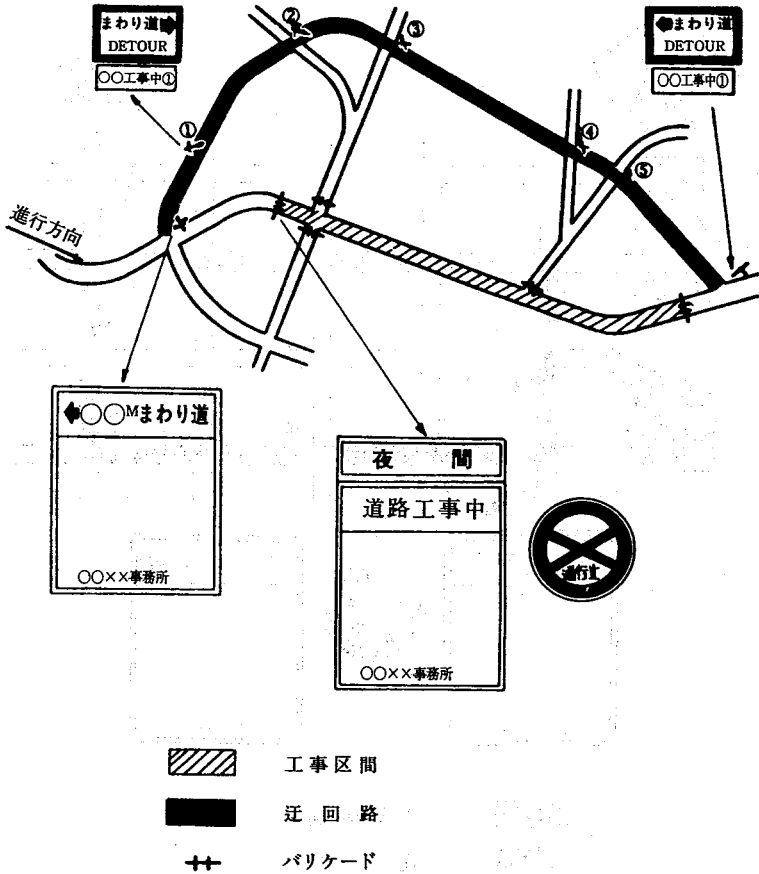
書体は、道路標識、区画線及び道路標示に関する命令、別表第 2 備考に規定するところによる。

### 六 標示板の拡大

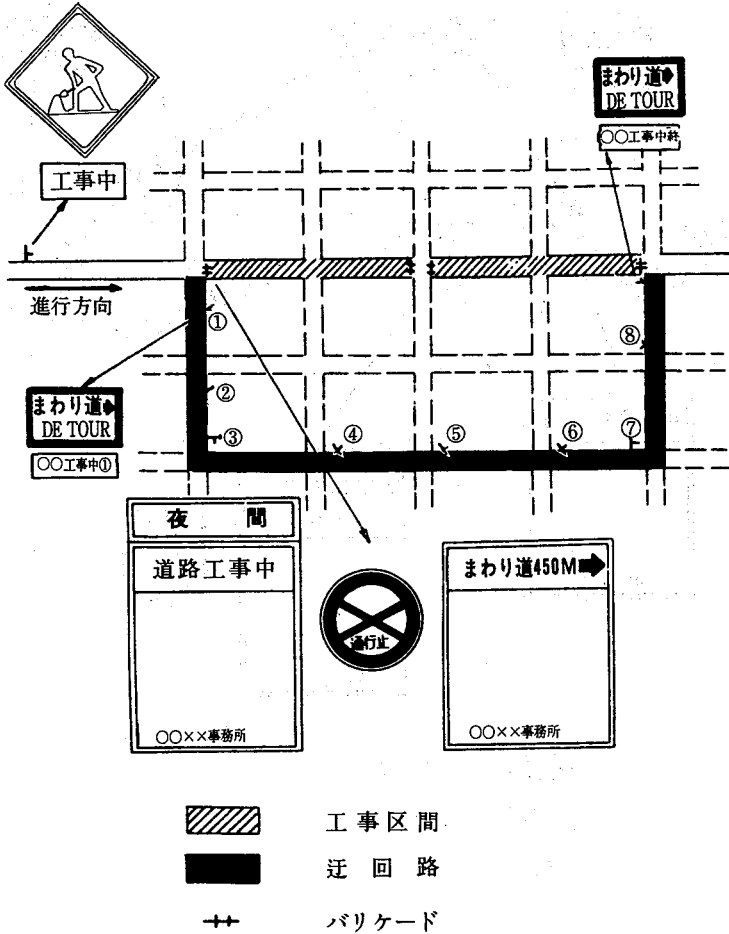
標示板の大きさ等は必要に応じて所定の比率のまま拡大出来るものとする。

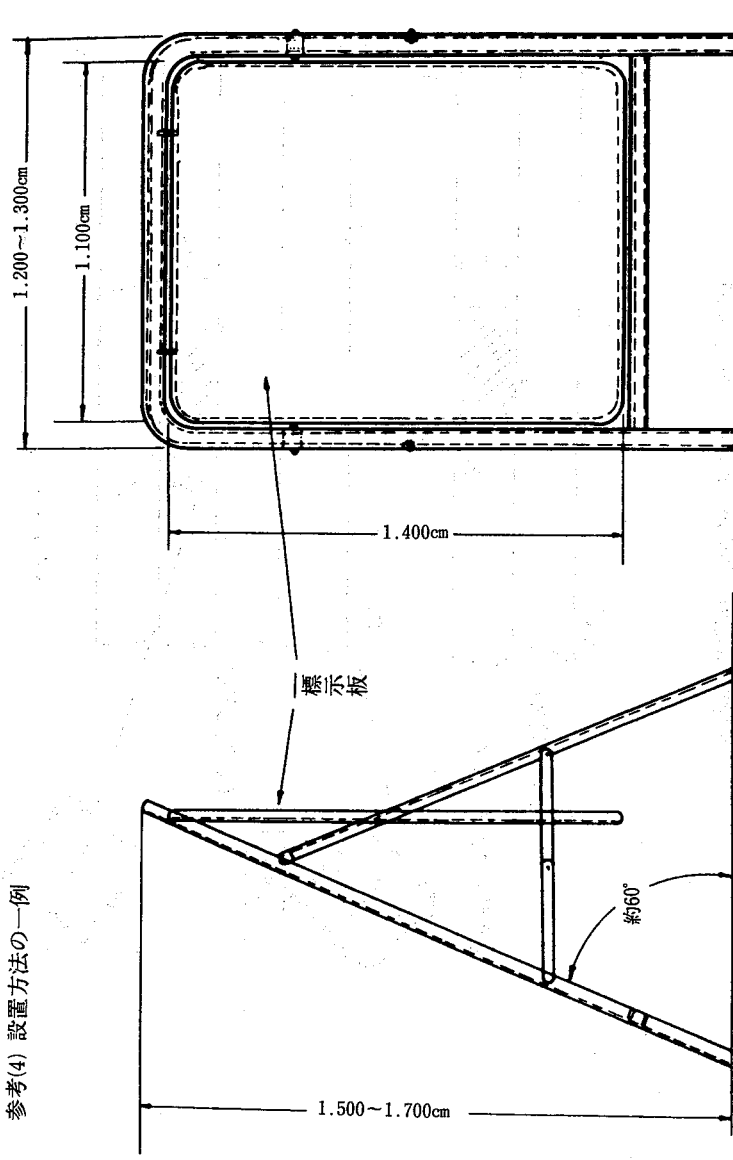


参考(2) 工事中迂回路の標示例（地方部の場合）  
 （進行方向に対する設置例を示す）



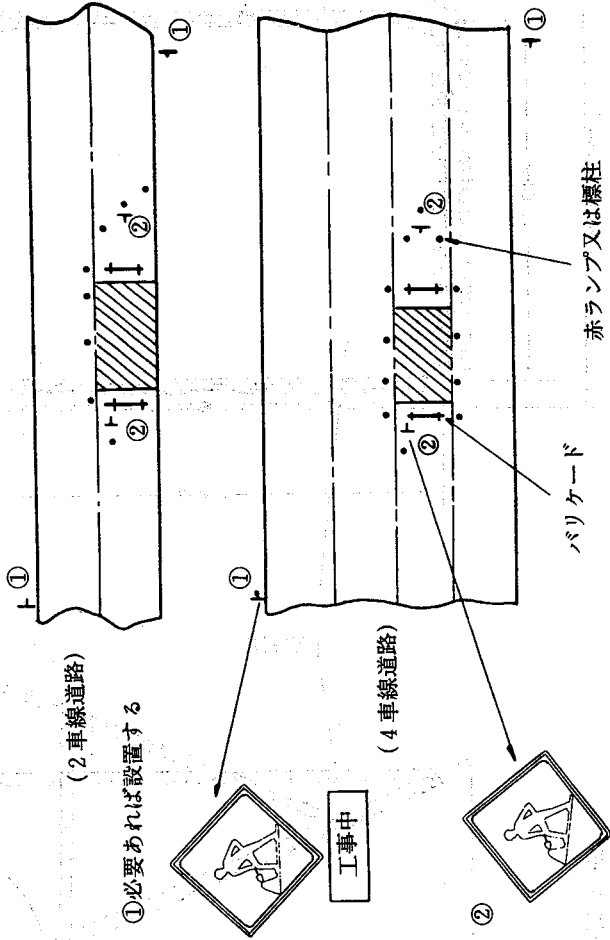
参考(1) 工事中迂回路の標示例 (市街部の場合)  
 (進行方向に対する標識の設置例を示す)





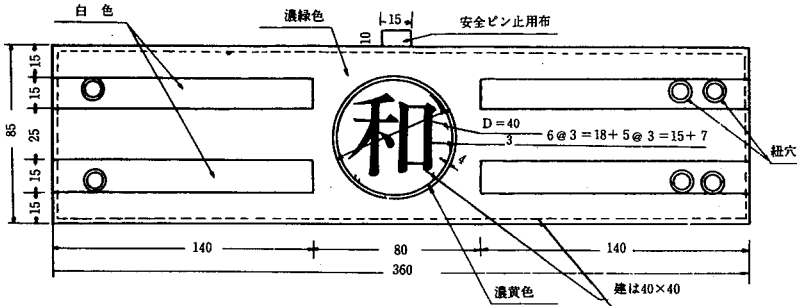
参考(4) 設置方法の一例

参考(3) 車線の一部分が工事中の場合の標示例

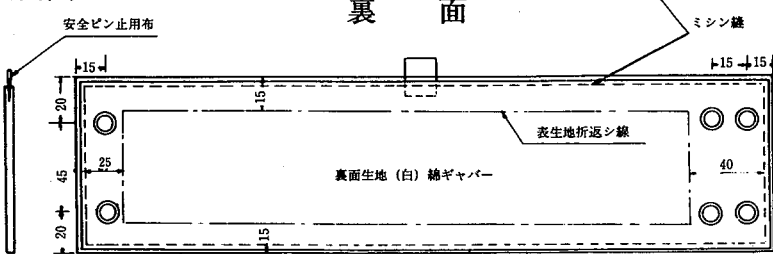


交通保安員用腕章図

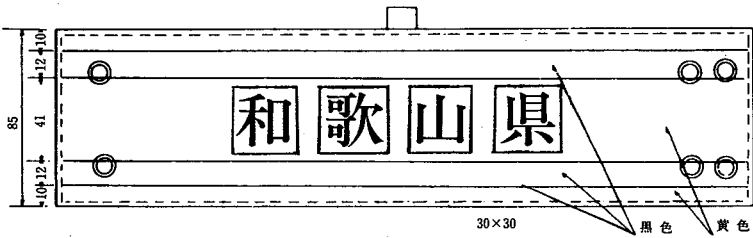
表面 S = 1/2mm



側面図



現場責任者用



請負者 現場責任者用

